

活き活き

ふれ ^{あい}  講座

第 1 4 回 テーマ

インフルエンザ対策

～寒い冬に負けないように～

講 師 北条病院 副院長

中 村 幹 男

日 時 平成 1 6 年 1 1 月 2 0 日 (土)

健 康 チェ ッ ク 1 3 時 ~

講 演 1 4 時 ~ 1 5 時

会 場 北条病院 リハビリ室

内 容 ①健康チェック (血圧・体脂肪率等)

②講 演

③健康相談



主催 医療法人以和貴会 北条病院

インフルエンザ対策～寒い冬に負けないように～

平成 16 年 11 月 20 日 北条病院 中村幹男

1.インフルエンザとは？ 概念 歴史 死亡者数

2.インフルエンザウィルスについて

構造 種類 新型ウィルス誕生のメカニズム

3.インフルエンザ感染から治療まで

感染様式 症状 合併症 ハイリスク群 診断

治療—抗インフルエンザ薬・対症療法

4.インフルエンザの予防

一般的予防

ワクチンによる予防

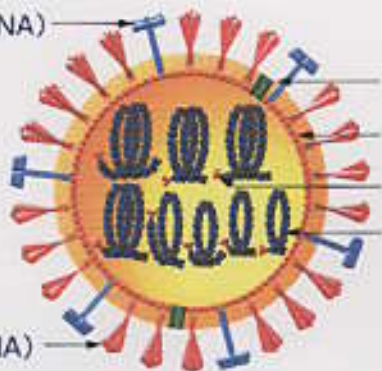
効果 接種回数 接種時期 ワクチンの製造法

副反応 接種不適合者

5. SARS について

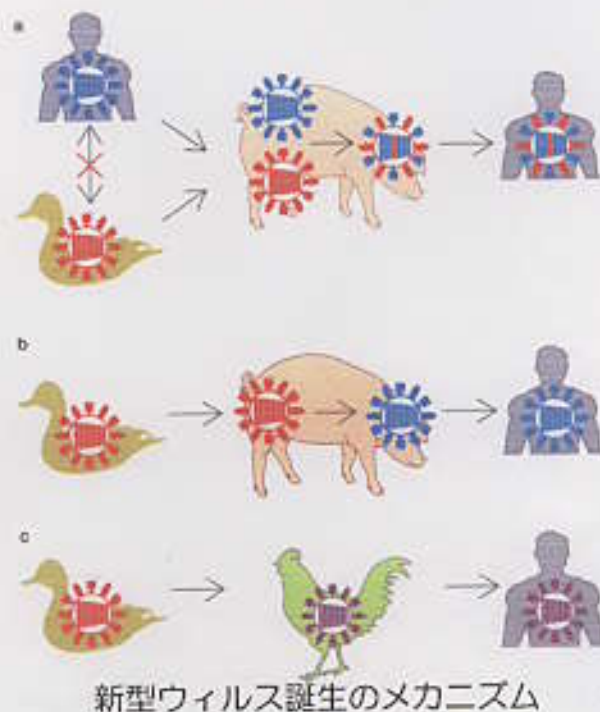
概念 インフルエンザとの比較 SARS かなと思ったら

ノイラミニダーゼ (NA)



ヘマグルチニン (HA)

インフルエンザウィルスの構造



インフルエンザウィルスの種類


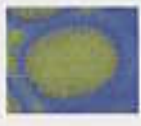
A型	HA 15種類 NA 9種類 この組み合わせで多数の亜型あり ヒトに感染するものはH1、H2、H3 現在流行している型は H1N1 (Aソ連型) H3N2 (A香港型)	小変異がしばしば起こる A香港型 →シドニー株類似ウィルス →パナマ株類似ウィルス など
B型	HA 1種類 NA 1種類	
C型	なし	

インフルエンザの治療薬

薬		投与方法	効果	小児用	副作用
録 補 四 ノ 之	リン酸オセルタミビル (タミフル)	経口	A型・B型	あり	少ない あっても消化器症 状程度(むかつき、 下痢など)
	ザナミビル (リレンザ)	吸入		なし	
塩酸アマンタジン (シンメトレル)		経口	A型のみ	なし	消化器症状の他 神経症状(ふらつ き、不眠など)出る ことあり

これらの薬剤は、48時間以内に開始しないと効果が少ない 薬局では手に入らない

SARS とインフルエンザの比較

	SARS	インフルエンザ
病原体	 コロナウィルス	 インフルエンザ ウィルス
初発症状	急な発熱・頭痛・筋肉痛・倦怠感など	急な発熱・頭痛・筋肉痛・倦怠感など
潜伏期	2~10日	1~3日
合併症	重篤な肺炎	肺炎・脳症その他
死亡率	約15%	約0.5%
死亡率と年齢	高齢者ほど重症化 65歳以上は50% 子供は軽症 24歳以下1%未満	高齢者ほど合併症でやすい 子供も脳症などで死亡
渡航歴	感染地域に行った	感染地域に行っていない
インフルエンザワクチン・抗インフルエンザ薬	無効	有効